

新年度予算編成の状況は

問 予算規模はどうか。

答 一般会計の歳出は、合併特例債償還費等が減少する一方で静岡モデル防潮堤整備や消防庁舎用地等、投資的経費が増加するため、本年度の321億8000万円（市民一人あたり37万円）を少し上回る見込みである。

問 税収の予測は。

答 個人市民税と固定資産税については微増を、法人市民税については若干の減を見込んでいます。

問 予算全体のイメージはどうか。

答 活力と創造で未来を先取る日本一健康文化都市の早期実現を図る。「子育て」「定住」「市民力」の三本柱に対応した予算とする。

地方創生への対応はどうか

問 内陸フロンティア推進区域の今後のスケジュールはどうか。

答 豊沢工業団地整備は平成30年までの工場用地の完成を計画し、小笠山山麓開発は民間企業による開発を基本として企

業誘致活動を実施している。今後は、平成29年度末までに進出企業の決定を目指している。

問 第一三共（株）跡地の周辺整備の考え方を伺う。

答 下水道整備は、受益者負担金等の要件が整えば区域外流入として可能になる。また、周辺道路の整備は開発者が行うことが基本だが、都市計画法許可手続きの中で適切に指導していく。企業進出によっては開発行為の許可が必要となり、当地は規模が10ヘクタール以上となることから、県の手続きも必要で、最短期でも3年くらいの期間を要するものと予測している。

問 袋井駅南地区の土地利用の状況を伺う。

答 駅南循環線の南側区域の6ヘクタールは、一部地権者の賛同が得られていない点を含め調整を進めている。循環線の北側については、事前協議書に基づいて審議し、11月に措置事項の結果を通知した。



袋井駅南地区計画（H26.11.18決定）

その他の質問項目

- ・ 民間の小規模宅地開発への支援強化
- ・ 保育所等と放課後児童クラブの待機児童対策
- ・ 地域医療体制の充実
- ・ 高齢者の交通事故、高齢者を狙った犯罪への対策
- ・ 地域農業を支えるための新しい農産物の研究・奨励
- ・ 農を丸ごと取り入れたまちづくり

代表質問の質問時間

代表質問の質問時間は、会派の人数によって異なります。

1会派あたり	20分 + (会派の人数×5分)
新生ふくろい	20分 + (6人×5分) = 50分
緑風会	20分 + (5人×5分) = 45分
自民改革クラブ	20分 + (4人×5分) = 40分
市民くらぶ	20分 + (2人×5分) = 30分